

浜田市政・雨水災害対策へ

新たな取り組み！



担当課長から現場説明を受ける浜田市長

1月4日土事始めの3日、浜田市長は、恒例の走り初めに続く市職員への年頭あいさつの中で、

「昨年は水害対策などで反省の多い年だったが、今年は

- ①総合体育館 ②吾岡山文化の森 ③オフィスパークへの企業進出 ④道の駅オープン など

継続事業が完了する夢の多い年となる。しかし、依然として市の財政事情は厳しい。家庭でいえは貯金が多くなったが、無くなる事態に直面している。このため、いっそうの行財政改革を推進する」と述べ、職員に協力を求めました。

その後、年頭の抱負を語り、浜田市政が継続事業以外では初めて取り組む大型事業として、

「新たに雨水排水対策事業を実施する。懸案の不燃物の最終処分場の整備や後免町再開発事業の都市計画決定、高知空港再拡張事業、阿佐線整備事業など課題が山積しているが、市制施行以来40年の長い間、雨水災害に悩まされた常襲地域の環境改善を行い、その安全と財産を守るため、相当の予算と期間を要するこの大型事業に着手する」と、決意を語りました。

■新事業の概要

後免町商店街更詰めから南へ流れる新川川の拡幅を行い、流域および上流の雨水排水対策を進めるもの。

平成11年度には、下水道事業費2億円の中で、新川川下流（大徳寺東あたりから下流）の670mを竣工させる予定で、12年度・13年度と上流へ工事を進め、13年度中には改修を終える予定です。

10年度内には、実施設計が完成します。計画では14年度以降も引き続き工事を進め、16年度中には西野田町の東芝団地北までの2千19mを完成させる予定です。また、一部暗きよ部分を設け、交通渋滞を緩和させる施設として利用する計画もあります。

この工事が完成すると、従来比較的浸水に弱いといわれてきた、新川川流域の環境が大きく改善されます。

河川整備は下流からの着工が原則であり、そのように計画し実施します。流域関連住民の皆さまのご理解とご協力をお願いします。

